

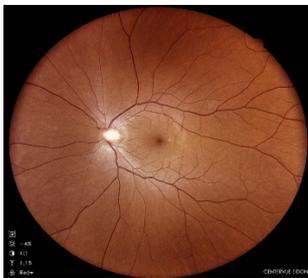
## ■ 眼科検診での主な検査

### ・視力検査

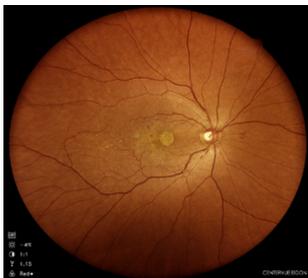
眼鏡やコンタクトレンズで矯正しても良好な視力が得られない（鮮明に見えない）場合は、目の疾患が隠れている可能性があります。また、遠方を見たときの視力と、近方を見たときの視力とを測定し、近方の視力のみが低下した場合は老視（老眼）が疑われます。

### ・眼底検査

眼科検査用のカメラを使用して、目の中にある網膜や視神経、眼底の血管等の写真を撮影する検査です。詳細に調べる場合は、目薬で瞳を開いた状態で検査を行います。眼底検査は、中高年で発症リスクが高まる加齢黄斑変性や緑内障の判定に役立ちます。さらに、糖尿病の合併症である糖尿病網膜症、高血圧および動脈硬化に伴う眼底血管の異常等も判定できるため、全身の健康状態とも深く関連しています。



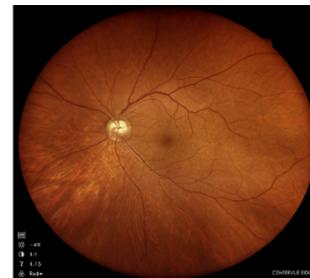
正 常



加齢黄斑変性



糖尿病網膜症



緑内障

### 眼底写真

### ・眼圧測定

目の中の圧力（目の硬さ）を測定する検査です。眼球に弱い風を当てることで、測定することができます。眼圧が高い場合は緑内障等の疾患が疑われるため、その早期発見に役立ちます。また、緑内障の経過観察や治療効果判定にかかわる重要な検査でもあります。